## 『お江戸の歴史と文化を訪ねてウォーキング』報告

11月28日(土)、今年のテーマは 「本所、深川 池波正太郎の世界を歩く」 でした。

池波正太郎の小説「鬼平犯科帳」は、実在の 人物、長谷川平蔵宣以がモデルです。 小説の大ヒットで実像と虚像が交錯してしまし

小説の大ヒットで実像と虚像が交錯してしまいましたが、その跡をクイズに答えながらたどりました。



【両国駅近くの広場に集合 開会セレモニー/大西会長のご挨拶】





【準備体操】



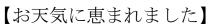


## 【3班に分かれ、回向院に向かって出発】





【吉良邸跡】







【江島杉山神社】

【芭蕉庵史跡庭園】





## 【清澄庭園を見学(昼食) この日は「いい庭の日(11月28日)」でした】





【霊厳寺】

【深川江戸博物館を見学】





【ゴールの富岡八幡宮へ到着】





みなさまお疲れ様でした。 参加いただきまして、ありがとうございました。